

# 厚木愛甲環境施設組合 公募型プロポーザル審査結果

(公表日：平成28年7月7日)

1 件 名	「ごみ中間処理施設整備に係る環境影響評価等支援業務委託」受託候補者選定
2 受託候補者及び次点者	【受託候補者】国際航業株式会社 【次点者】八千代エンジニアリング株式会社 横浜センター
3 全提案者の名称 (申込順)	(1) 国際航業株式会社 (2) 八千代エンジニアリング株式会社 横浜センター (3) パシフィックコンサルタンツ株式会社 横浜事務所 (4) 株式会社エックス都市研究所・環境技研コンサルタント 業務実施連合体
4 審査委員	(1) 荒井 喜久雄 (委員長) (2) 横田 勇 (委員) (3) 高澤 公一 (〃) (4) 池貝 隆宏 (〃) (5) 岩崎 豊 (〃) (6) 矢野 正男 (〃)
5 審査委員の選任	「厚木愛甲環境施設組合ごみ中間処理施設整備検討委員会 条例」第7条に基づく専門部会の委員
6 審査方法	【第1次審査】 書類審査 (企業の同種業務実績、配置技術者が保有する 技術士資格及び配置技術者の同種業務実績)  【第2次審査】 審査委員による審査 (技術提案書・特定テーマに基づく プレゼンテーション) 及び業務委託料の見積額評価
7 評価点 (得点順)	別表「プロポーザル審査結果集計表」のとおり

# 『別表』 プロポーザル審査結果集計表

評価項目		評価の着目点	第1位	第2位	第3位	第4位
技術提案書	(1) 業務の実施方針	ア 業務に対する理解度が高く、実施に当たっての視点やポイントが明確化されているか。	7.8	7.8	6.8	6.5
		イ 平成28年3月策定の「厚木愛甲環境施設組合ごみ中間処理施設整備基本計画」を的確に分析し業務の実施方針に反映しているか。	7.6	6.8	6.6	6.5
		ウ 関係機関との調整や地元住民の合意形成について、手順や方法が明確に示されているか。	7.3	6.5	6.6	6.0
	(2) 業務の工程計画	ア 工程計画の作成について、合理的な説明がなされているか。また、工程短縮への努力が認められるか。	7.1	8.0	7.1	6.5
		イ 業務期間内における業務の量及び内容の実現性は妥当か。	7.0	7.1	6.6	6.5
特定テーマ	(1) 環境影響評価と施設基本設計の支援業務を一体的に行うことで、施設整備事業にどのようなメリットを生み出せるか。		7.1	7.3	6.6	6.5
	(2) 環境影響評価を実施するに当たって想定される課題と解決策について、どのように考えるか。		7.5	7.5	7.1	6.6
	(3) 次の地元要望に対し、どのような姿勢で業務に取り組んでいくのか具体的な対応策を含めて提案すること。 ア 県の相模川浸水想定を踏まえ事業区域全体を2m嵩上げする計画だが、地元からは嵩上げによる雨水排水の周辺地区への影響について万全の対応策を講じることが求められている。 イ 施設北側に併設する災害廃棄物一時保管場所は、廃棄物処理施設として施設と一体で都市計画決定するが、この場所は平常時には住民に親しまれ、憩いの場となる緑地として整備することが求められている。 ウ 施設の稼働目標年度を平成37年度としているが、これを精査し、工期全体の短縮に努めることが求められている。 エ 大規模災害時には、施設管理棟の会議室などを開放し、地区住民が一時的に避難できる場所とするほか、非常食や毛布の備蓄なども求められている。		7.6	7.6	7.1	6.5
コミュニケーション能力	(1) 総体的な説明能力は、十分備わっているか。		7.6	7.3	7.0	6.0
	(2) 質疑に対し、明瞭かつ適正に回答しているか。					
専門的技術力及び取組姿勢	(1) 専門性を十分満たしていると感じられるか。		7.6	7.6	6.8	6.1
	(2) 業務への取り組み意欲は、強く感じられるか。					
第2次審査評価点	審査委員評価点 (計/100点)		74.2	73.5	68.3	63.7
	見積額評価点 (計/30点)		15.0	11.0	15.0	18.0
第1次審査評価点	配置技術者の保有資格及び同種業務実績 (計/70点)		54.0	58.0	51.0	42.0
総合得点 (計/200点)			143.2	142.5	134.3	123.7

※ 審査委員評価点は、各評価項目における審査委員（6人）の平均点を合計したものです。